

2015年度

# JICA研修コースの実績紹介

「大気汚染源管理」コース



2015年9月20日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

page 1

# 1. 研修コースの紹介

1) コースリーダー / 貴戸 東



2) 研修コース 名

- 和文：「大気汚染源管理コース」
- 英文： Air Pollution Source Management

3) 研修受入れ期間： 2015/5/13 ~ 2014/6/26

4) 参加研修員： 10名（4カ国）

参加国内訳

ボスニア・ヘルツェゴビナ、中国、エジプト、スリランカ

## 【参加研修員の国名】



世界の4カ国から派遣された10名の研修員の皆さんが、北九州市（JICA九州）に集まり、「大気汚染源管理」に関する技術研修に参加しました。

## 2. 研修目標

### 案件 目標

大気汚染源管理に関する中央／地方政府における職員が、当該国において実施可能な大気汚染管理に関する基本政策を策定できるようになる。

### 自国での検討～実施



### 日本での研修



大気汚染測定の実演

#### 単元目標①

：研修員の自国における大気汚染源管理に関する課題とその要因を理解・整理する。

#### 単元目標②

：日本における大気汚染防止の行政政策を理解する。

#### 単元目標③

：大気汚染モニタリングおよび大気汚染物質の測定法を理解する。

#### 単元目標④

：大気汚染防止技術を理解する。

### 3. 研修員の達成度

研修員の皆さんは、非常に真面目で日本の経験と新しい技術を学習する意欲が強く感じられました。研修効果も高い結果が得られました。

(1/2)

参加国	アクションプランのテーマ	【コースリーダーから一言】 本研修で得た知識と経験を活かして。	研修達成度
ボスニア ヘルツェゴビナ	大気モニタリングと大気中の排 気ガス測定の改善	帰国後、本研修で得た知識と経験を活用 し大気モニタリングの測定結果の精度向 上に貢献されることに期待する	【合格】
中華人民 共和国(A)	大気中の黒煙のモニタリングと 排出抑制	今、中国で問題となっており日本にもそ の影響が及んでいるPM2. 5の原因であ る黒煙の対策の貢献に期待する	【合格】 筆記試験結果 は最高点。
中華人民 共和国(B)	工場からの排出ガスを抑制する 技術に関して政府が十分な情報 を有するようになる	中国において工場から排出される大気汚 染物質の対策技術に関するデータ ベースが構築されることを期待する	【合格】
中華人民 共和国(C)	中国におけるVOCの抑制	大気中のVOCの測定技術向上、環境基 準の改善、排出源からのVOCの抑制技 術の向上に期待する	【合格】
中華人民 共和国(D)	現存する大気モニタリングシステ ムの改善と排出源からの排出抑 制	大気モニタリングシステム局を適正に配 置し得られた測定データを有効活用す ることにより大気汚染対策に貢献される ことに期待する。	【合格】 APの評価は 最高点。

参加国	アクションプランのテーマ	【コースリーダーから一言】 本研修で得た知識と経験を活かして。	研修達成度
中華人民 共和国(E)	中国の地方政府における大気汚染物質の総量規制の策定	大気汚染物質を削減するための総量規制制度の導入に貢献することを期待する	【合格】
エジプト(A)	工場排ガス中の大気汚染物質を削減するための技術に関するデータベースの構築	工場から排出される大気汚染物質の対策技術に関するデータベースの構築に期待する	【合格】
エジプト(B)	現存する一般大気測定局の有効活用	現存する一般大気測定局を適正に再配置し得られたデータが有効に活用できることを期待する	【合格】
スリランカ (A)	スリランカにおける工場排ガス測定法に関するマニュアルの作成	工場排ガス測定法の統一マニュアルを作成し固定発生源から排出される大気汚染物質の規制実施に期待する	【合格】
スリランカ (B)	大気汚染問題に関する全ての関係者間の調整による解決案の策定	宇部市の研修で得た知識と経験を活用しスリランカ国で大気汚染対策に貢献することを期待する	【合格】

## 4研修案件に対する考察

研修員の皆さんに記入して頂いた週報を基に、研修科目の内容について評価を行いました。

	項目	高評価の研修内容
研修目標(1)	大気汚染防止の行政施策	「大気汚染防止の法制度」 「環境ミュージアム」 ・全研修員が非常に良いとの評価であった。
研修目標(2)	大気汚染モニタリングと汚染物質の測定	「ダスト、硫黄酸化物、窒素酸化物の測定」 ・研修員10名中9人が良かったと評価した。
研修目標(3)	大気汚染防止技術	「一般廃棄物焼却工場」 ・全研修員が非常に良いとの評価であった。

## 5. 研修員スピーチ

# 研修員の感動スピーチ (於：閉講式)



閉講式でスピーチされたジャナニさん  
(スリランカから参加されました)

# Ms. AKMEEMANA PALLIYAGURU Janani (通称:ジャナニさん)の謝辞 ～研修員代表～

◆和訳全文をご紹介します。

JICA九州研修業務課長 天池様、

K I T A 副理事長 上野様、

ご来賓の皆様、

親愛なる研修員の皆さん

こんばんは。

この研修の研修員を代表してお話させていただく機会をいただき、大変光栄に思います。



スピーチされたジャナニさん。



まず、大気汚染管理について日本の貴重な経験を学ぶ機会を作って頂いた日本政府へ心から感謝を申し上げます。また、この大気汚染管理の研修を計画して頂いたJICA、KITAの皆さんと素晴らしい研修を可能にして頂いた関係者に厚くお礼申し上げます。

大気汚染は広範囲に及ぶ健康、経済、環境への影響をもたらす、住みよい社会をつくるための最大の障害の一つです。大量のエネルギー消費、自動車人口の増加、産業の過剰集中が環境基準の欠如と結びつき、急速に経済発展し空気質が急激に悪化している国においては特にそう感じられています。

北九州市は産業化の結果として、大気汚染とそのほかの環境汚染問題を経験し、それを乗り越え、今日私たちが見る住みやすくきれいな環境の実現に成功しました。北九州市について学ぶことは希望を与えてくれ、私たちの国での汚染管理を実現する計画を設計、実行する刺激を与えてくれました。



この研修を通して、日本の大気汚染防止法や排ガス測定法、大気汚染防止技術、大気汚染監視、大気拡散といったテーマの範囲について豊富な知識を得ました。そして専門家による講義、視察訪問、実習を通じて、大気汚染管理のために日本で使われている技術や方法の本質を見極めました。

この研修で得た知識と経験は非常に貴重なもので、私たち自身の国で直面している大気汚染問題の解決策が見つかりました。全ての講師の方々、訪問先の施設や企業の代表の方々、知識と経験を共有していただき大変感謝いたします。





私たちが日本で学んだ事は、大気汚染源管理だけではありません。例えば、私としてはこの研修プログラムの素晴らしい編成から多くを学びました。細部に至るまで注意を払って計画、編成されていたため、私たちの滞在は楽しく素晴らしいものでした。

コーディネーターの松本さん、JICAとKITAの職員の皆様、研修において私たち一人一人がこの機会を最大限に活用できるよう、あらゆる面からお世話をしてくださり本当にありがとうございました。

さらに、貴戸コースリーダーには特に感謝したいと思います。この研修を通して助言やサポートをしていただきました。学んだ事をどのように私たちの国で応用できるか適切なアドバイスをくださり、関心あるテーマについては追加情報を探す手伝いをしていただきました。



日本で過ごした時間は素晴らしいものでした。ここに到着した時から、JICA職員、スタッフの皆さまはととても歓迎してくれました。そのおもてなし、思いやりに感謝したいと思います。JICAとKITAは、オリエンテーション・プログラム、日本語の授業や様々なイベントを通じて日本文化を紹介してくださり、日本での滞在を最高のものにしてくださいました。

最後に、中国、エジプト、ボスニア・ヘルツェゴビナ、そしてスリランカから参加された友人たち。帰国しても友情を続けましょう。そして私たちの国がよりクリーンな大気となり、より良い未来のためにがんばりましょう。

ありがとうございました。

## 6. 研修思い出アルバム

JICA九州で講義



研修先訪問



スライドショー

クリックして写真集を  
ご覧下さい

研修先訪問



国際親善

